

# Shiga Health Report

からだ&こころの相談は保健管理センターへ

## 子宮頸がん予防とHPVワクチンキャッチアップ接種

滋賀大学保健管理センター 看護師 今村祐子

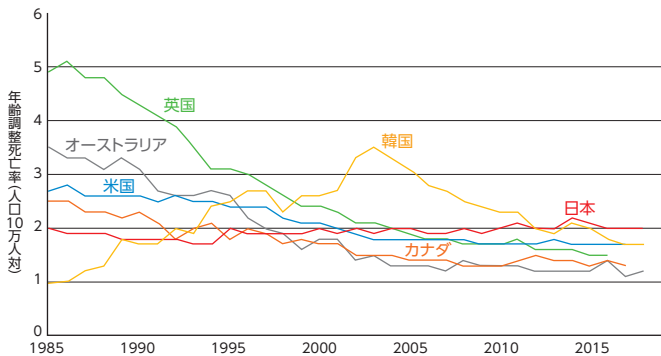


図1 子宮頸がん年齢調整死亡率の年次推移

日本では毎年約10,000人の女性が子宮頸がんと診断され、年間約2,900人の女性が子宮頸がんによって命を落としています。多くの先進国では子宮頸がんの死亡率は検診の普及により減少していますが、日本では子宮頸がんになる人も死亡する人も増える傾向にあり、西欧、オーストラリア、韓国などよりも高いレベルとなっています(図1, 参照1)。

ヒトパピローマウイルス(HPV)は感染しやすく、性交経験のある人の大半が生涯で一度はHPVに感染します。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんや、尖圭コンジローマなど、多くの病気の発生に関わっています。HPVは男性にも感染し、陰茎がんなどの病気を発生させます。子宮頸がんの95%は、HPVの子宮頸部への持続的な感染が原因です。HPVには200種類以上の「型」があり、その中でも16型と18型が子宮頸がんの原因の65%を占めています。

HPVワクチンは2006年に開発されたHPVの感染を防ぐワクチンです。2022年12月の時点で120ヶ国以上の国々において公的な予防接種が実施されています。

日本では2009年に承認され、2013年4月から小学校6年～高校1年相当の女子を対象に、公費(無料)による定期接種が開始されました。しかし有害事象との関連が疑われ、同年6月には国から、HPVワクチン接種の「積極的な勧奨の差し控え」が通達され、接種率は激減しました。

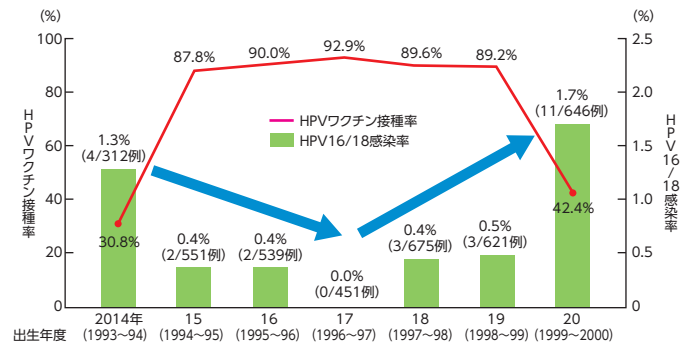


図2 ワクチン積極的勧奨中止後世代でHPV16/18型感染率が急増

20～21才におけるHPV16/18型の感染率を調査した新潟大学の研究によると、HPVワクチンの公費接種の導入により、接種率が高かった世代の感染率は減少(2017年にはゼロ)が観察されました。しかし「積極的な勧奨の差し控え」により接種率が低下した世代の感染率は、再上昇していました(図2, 参照2)。

HPVワクチン接種の「積極的な勧奨の差し控え」は2023年3月末に終了しました。この差し控え期間に接種機会を逃した方に対して公費で接種機会を提供するのが「キャッチアップ接種」です。1997年4月2日～2007年4月1日生まれの女性を対象で、今の大学生の多くがこのキャッチアップ接種の対象となっています(参照3)。キャッチアップ接種には期限があり、接種回数は一定期間を空けて2～3回のため、公費で接種を希望される方は早めの検討が必要です。住民票のある各自治体に確認してください。

なお、滋賀県では県内の大学に通う学生や一般市民の方を対象に、滋賀医科大学医学部附属病院母女性診療科に「HPVワクチン接種特別枠」が設置され、男女を問わず、希望者への接種を実施しています。男性のHPVワクチン接種は任意接種(自費)です。

また、ワクチン接種を受けた場合でも、完全に子宮頸がんを防げるわけではありません。20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受けることが大切です。

この機会に、子宮頸がん・HPVワクチンについて正しく理解し、接種についてよく考えてみましょう。

### 【参照】

- 国立がん研究センターがん対策研究所.「子宮頸がんとその他のヒトパピローマウイルス(HPV)関連がんの予防」ファクトシート2023 <https://www.ncc.go.jp/html/icc/hpvcancer/index.html>
- 新潟大学. ワクチン積極的勧奨中止の影響でHPV感染率が再上昇 ー大規模疫学研究NIIGATA studyー <https://www.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/04/220401rs.pdf>
- 厚生労働省.「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん(子宮けいがん)とHPVワクチン」 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/>

# 保健管理センターとはこんなところ

## 健康診断

定期及び臨時の健康診断を実施し、健康管理上問題があると思われる場合には、精密検査を指示し、異常の早期発見、疾病に対する適切な治療の指導を行います。また、必要に応じて、他の医療機関へ紹介します。

- ① 定期健康診断：全学生を対象に実施(4月)
- ② 特殊健康診断：化学薬品を取り扱っている者に実施(4月・10月)
- ③ 臨時健康診断：駅伝・マラソン大会の前や運動部の対外試合前の健診
- ④ 留学生特別健康診断：全外国人留学生を対象に実施(10月)

## からだの相談

専任医師及び学校医(内科、精神科、整形外科、婦人科)が相談に応じています。からだに異常を感じたり不安を感じたりした場合には、助言・指導を行い、正しい判断をして適切な治療が受けられるように援助します。又、必要な時は医療機関へ紹介します。➔ [最終ページ参照](#)

## こころの相談

精神科医や臨床心理士がカウンセリングを行っています。相談内容については、秘密が堅く守られますので、どんな相談でも一人で悩まずに気軽に連絡してください。

➔ [次ページ](#)・[最終ページ参照](#)

## 健康推進活動

- 「健康な大学生活をおくるために」(新入生のための健康アドバイス本)
- SHR(春と秋に発行する情報誌)
- SHRmini(その時々の特集や知ってほしい情報を不定期でお知らせします)  
保健管理センターやロビーにおいてあるので読んでください  
保健管理センターのホームページにも掲載しています
- リーフレット(保健管理センターに設置しています)  
感染症ハンドブック  
禁煙の日オフィシャルブックレット  
マンガでわかる! 大学生のVPDブック
- 滋賀大学健康セミナー(一般の方も対象に講演会を企画しています)

## 応急処置

けがや頭痛、腹痛、発熱などに対して応急処置を行います。

また、気分の悪いときなどに休養するベッドもあります。

## 測定できる項目

★自己測定可能

- ★身長 ★体重 ★握力
- ★体組成(脂肪量・筋肉量など)
- ★体温 ★血压 ★視力
- ★血中酸素飽和度
- ★簡易貧血検査(ヘモグロビン推定値)
- 血糖値 ●心電図
- 尿(蛋白・糖・潜血)
- 超音波画像診断装置

## 健康診断結果報告書発行

健康診断の結果は、証明書自動発行機から「健康診断結果報告書」で確認できるので、必ず受け取って下さい。結果についての相談は保健管理センターで受けられます。

## 健康診断証明書発行

就職・進学・奨学金の申請等に必要なた「健康診断証明書」は定期健康診断を全項目受けた者のみ5月中旬より証明書自動発行機で受領できます。発行されない時は再検査が必要なので保健管理センターで確認してください。

## その他

アルコール体質パッチテスト(春学期)  
胸骨圧迫体験  
貧血検診(10月)



## こころの病気について

大学生の皆さんの年代は、様々なこころの病気がはじまりやすい時期でもあります。こうした病気は、体の病気がいろいろな器官の不調によって起こるのと同じように、主に脳という極めて複雑な器官の働きのバランスが崩れることによって生じますが、早い時期に治療を受けることで、バランスの崩れを改善することができます。

具体的には、うつ病に対して抗うつ剤を用いるように、薬物治療が一つの選択となります。精神科の薬と言うと、「怖い」と心配をされるかもしれませんが、実際は、抗うつ剤や精神安定剤には、脳の神経細胞が本来持っている働きを強めるか弱めるかのどちらかの作用しかありません。従って、お薬によって何か新しい作用が脳に加わるわけではありませんし、自分の考えが変えられてしまうということもありません。

保健管理センターでは、こうした病気の予防や治療についての精神保健相談を行っています。最近良く眠れない、やる気がでない、授業中に不安で息苦しくなる、食事量のコントロールがうまくいかない、等の相談に対して、適切な医学的判断を行い、治療へとつなげていきます。ご自分のこと以外でも、ご家族や親友の問題についても相談を受け付けます。プライバシーは完全に守られますので、どうぞ安心して相談してください。

## カウンセリングについて

「カウンセリング」の最もシンプルな定義は、「ある人の話を聴くことで、別の人を助けること」です。とすれば、友達や恋人同士、家族の間でもカウンセリングが成り立ちそうですね。実際、友達に悩みを相談して気持ちが楽になることもあるでしょう。しかし、カウンセラーに話を聞いてもらうことで、はるかに安全でスピーディーに解決を見つけられることも多いのです。

カウンセラーは、あなたの秘密を完全に守ってくれます。またカウンセラーと一緒に考えることで客観的で、ニュートラルな判断を下すことが出来ます。もしあなたの抱える悩みが深刻であれば、相談を受けたあなたの親友も同じように悩み、苦しむかもしれませんし、時にはあなたの秘密をまた別の人に打ち明けてしまうかもしれません。カウンセラーはあなたの話を冷静に聴き、プロフェッショナルな対応を行います。カウンセラーは決してあなたに解決の無理強いをしませんし、あくまで自分のペースで、納得のいく解決を見つけることが出来るように、あなたを援助します。

保健管理センター カウンセリング室では、随時相談を受け付けます。相談内容は、あなたが相談してみたいと思うことであれば、どんなことでも構いません。電話での予約も可能です。

## 保健管理センター主催のレクリエーション企画

季節の草花を使った工作企画や、映画鑑賞の時間など様々な企画があります。

日常の忙しさを忘れて、保健管理センターでゆっくりした時間を過ごしてみませんか。

毎年6月下旬に万年カレンダー、12月上旬にクリスマスリースを制作するワークショップを開催しています。

随時サクセスでお知らせしますので、興味のある学生さん教職員のみなさまはぜひご参加ください。

# 保健管理センター カウンセリング室のご案内

## ～こころの相談について～

保健管理センター カウンセリング室では、大学での生活、人間関係などの悩みや不安について、医師とカウンセラーがこころの相談に応じています。相談の内容に関しては完全に秘密が守られますので、気軽に相談してください。家族・友人・指導教員からの相談にも応じています。

なお、相談は原則として予約制ですので、保健管理センターまで連絡してください。

予約時に下記をお伝えください。(◎必須 △任意)

- ◎学籍番号
- ◎お名前
- △カウンセラーの性別(男性・女性)
- △希望日時
- △実施方法(対面・LINE通話・Zoom)



からだ・こころの相談

カウンセラーの性別・希望日時・実施方法は、ご希望に添えない場合もございますがご了承ください。

### ♡ からだ & こころの相談は保健管理センターへ

	からだの相談	こころの相談
<p><b>彦根キャンパス</b> 保健管理センター</p> <p>☎ 0749-27-1024 ✉ hoken@biwako.shiga-u.ac.jp</p>	<p>山本医師(内科)…………… 毎週火・木</p> <p>高村医師(整形外科)…………… 第1金</p> <p>女性相談…………… 未定</p>	<p>カウンセリング室 久保田医師…………… 毎週火・金</p> <p>國松カウンセラー…………… 毎週月</p> <p>障がい学生支援室※ 谷口カウンセラー…………… 毎週水・金</p>
<p><b>大津キャンパス</b> 保健管理センター分室</p> <p>☎ 077-537-7709 ✉ hoken@edu.shiga-u.ac.jp</p>	<p>山本医師(内科)…………… 毎週月・水</p> <p>北村(清)医師(内科)…………… 毎週火</p> <p>北村(博)医師(整形外科)…………… 第1・3金</p> <p>女性相談…………… 未定</p>	<p>カウンセリング室 久保田医師…………… 毎週月・木</p> <p>岩城カウンセラー…………… 毎週木</p> <p>障がい学生支援室※ 谷口カウンセラー…………… 毎週火・木</p>

上記の相談日は講義等の都合により変更されることがあります。最新情報は学内掲示板等を確認してください。

### 〈 障がい学生支援室※ との連携について 〉

保健管理センター カウンセリング室は、必要に応じて障がい学生支援室と連携しています。

障がい学生支援室では、修学上の支援や学生生活の支援を必要としている学生に対して、個別のニーズに応じた様々なサポートを行います。各学部及び各研究科と連携し、よりよい修学環境で学生生活が送れるように必要な支援を提供します。

詳細・連絡先は、右記のQRコードから滋賀大学ホームページ「障がいのある学生への支援」をご覧ください。



滋賀大学ホームページ  
障がいのある学生への支援